

令和5年度

地域とともにある学校づくり

保谷第二小学校5年生

コミュニティ・スクールの充実

西東京ふるさと探究学習パッケージ

パッケージ：平和の願いを伝えよう

コンセプト：平和を願い、そしてうたう

ねらい：平和な世界実現のために、何が必要か、自分達に何ができるかを考え、具体的な行動に示す。

■学びの発信



平和のリング修復記念イベント(教育課程外) [2月]

- 西東京市の平和のリング修復記念イベントに有志が公式参加し、平和のうたを広く社会に向けて発信した。
- 児童は、不特定多数の聴衆に自分達の思いが伝わるように、事前に、独唱や間奏、ハミングを挿入し、曲の質を高めた。
- 「学びの連続性」による結果が、自己肯定感と達成感を高めた。

■探究単元④



平和交流会(総合的な学習の時間) [9月]

- ヒマワリ栽培の縁から、ウクライナ避難民運営食堂「Nadiya」の仲介で、避難者との交流会が実現した。
- 児童は、テーマごとに探究した日本文化の紹介を行った。避難者からウクライナのことを学び、給食のボルシチを共に味わった。
- 平和のうたのお披露目では、感極まって涙を流す児童もいた。

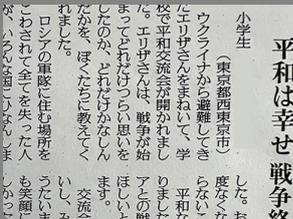
■探究単元③



平和のうたを届けよう(国語科) [9月]

- ロシアによるウクライナ侵攻を自分事としてとらえて、砲弾ではなく花束を、平和のうたをつくらせて贈ろうと考えた。
- 平和を願う俳句や短歌を詠んで、そこから言葉を選ぶ、協働的な活動を通し、合唱曲『平和を願い、そしてうたう』を作詞した。
- 作曲は教員が行い、児童の思いに応えた。

■探究単元②



戦争と平和について考えよう(国語科) [9月]

- 国語科の単元「たずねびと」で、原子爆弾の惨禍について知り、戦争と、戦時下の人々の思いについて考え、作文にまとめた。
- タブレット端末を用いた、自宅での「反転学習」により深めた。
- 昨年度から継続する新聞への投書を、戦争を題材に行い、1名が読売新聞に掲載された。

■探究単元①



ヒマワリプロジェクト(特別活動) [6月]

- コミュニティ・スクールとして、花の栽培の地域拠点化を図り、全校で「花プロジェクト」を進めて、3年目となる。
- 第5学年の児童は、150の丸鉢で、ヒマワリを栽培するとともに、「花大使」として地域の事業所にヒマワリの苗を贈る「花外交」を進め、地域社会に広く認知されている。